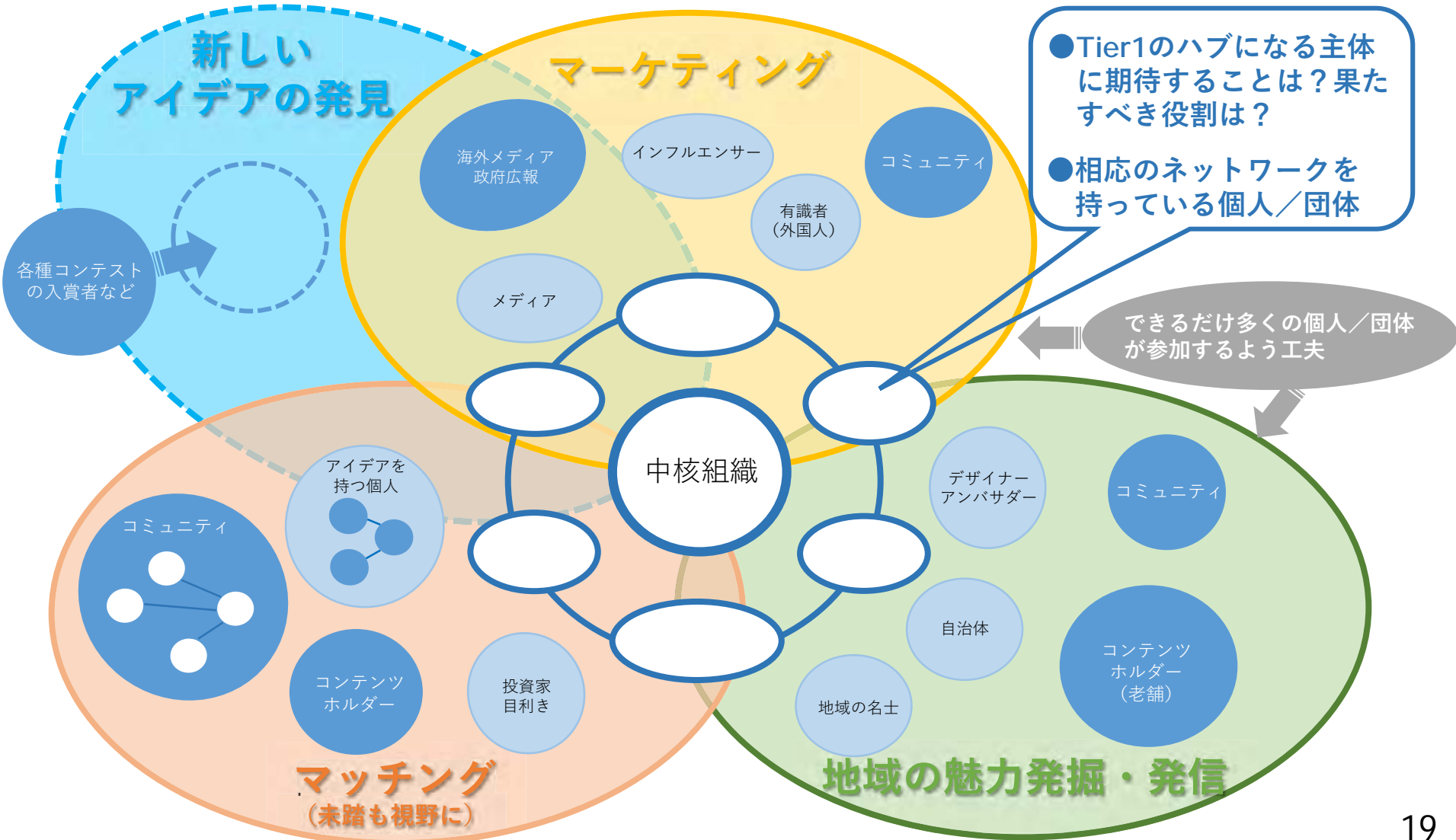


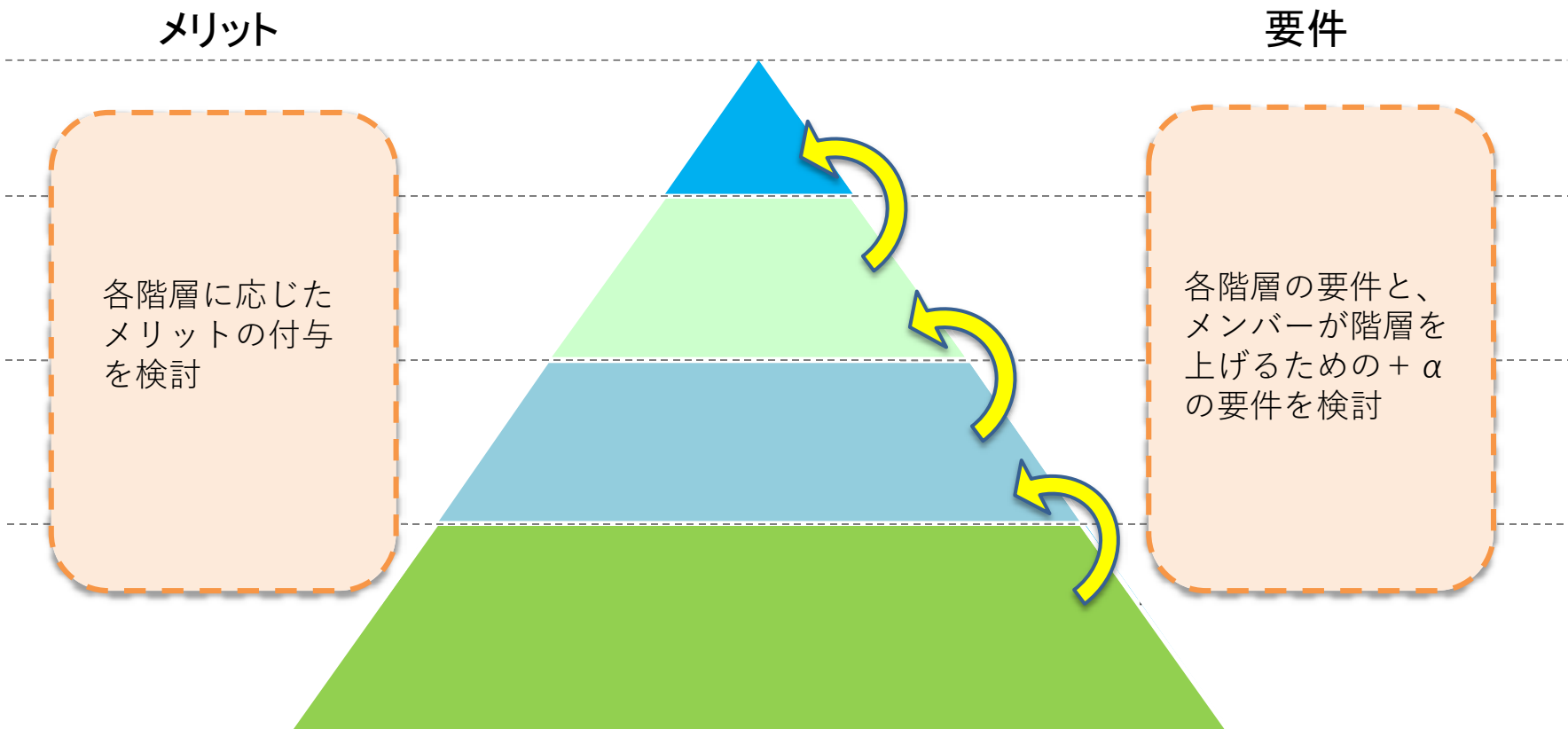
横の連携を強化するための仕組み（案）

中核組織とハブになる主体を中心に、アジェンダごとにネットワークを構築し、連携させながら拡大する。



議論のたたき台：ネットワークを維持する仕組み

ネットワークの質を維持し、求心力を確保するため、メンバー(団体・個人)の階層化が必要 →個人は能力・可能性で、団体は能力・可能性・貢献度で階層化？



議論のたたき台：「日本ファン」を拡大するシステム(イメージ)

- 外国人の関心を踏まえ、双方向のコミュニケーションを通じ、「日本」に関する知識・関心を深め、「日本」に愛情を持つ日本ファンを増やす。日本ファンにはクールジャパンの取組にも積極的に関与いただき、更なる日本ファンの増加に結び付ける。

【日本ファン】

- ・ 「日本」に対する愛情や好感がある
- ・ 「日本」に関する深い知識や問題意識がある
- ・ 「日本」に関して愛情をもって、自発的に発信

C)の取組に積極的に関与してもらう

- ・ 関心に沿った情報を中心に深い情報を提供し、「日本」への愛情を深める
- ・ ネットワークにおける、資源の発掘や海外への発信など「日本市民」として活躍してもらう

【日本に一定の関心がある層】

- ・ 「日本」に対する関心があり、積極的に情報収集をするつもりもある
- ・ 訪日希望又は経験がある
- ・ 関心や好感の度合に大きな個人差がある

インセンティブ
※

日本ファンになってもらう

- ・ 関心のある分野の情報を提供し、関心分野に触れる機会を増やすことで、「日本」に関する関心や知識を深める
- ・ 共感を得て、「日本」に関する好意を醸成する
- ・ 一方的な情報発信から双方向のコミュニケーションに移行することが重要

【無関心層(大多数)】

- ・ 「日本」に対して関心がなく、積極的に情報収集をするつもりはない
- ・ 「日本」に対して悪い感情を抱いていない人が多い
- ・ 訪日希望又は経験はない

潜在的な顧客

- ・ 情報を様々な手段で発信することで、「日本」に対する関心を持ってもらう
- ・ よく使うメディア、関心を持ちやすいコンテンツを意識してできるだけ多くの人に情報を届ける

※ 日本ファンになってもらい、日本ファンであり続けてもらうためのメリット措置。

議論のたたき台：「日本ファン」拡大の仕組み（案）

日本ファン＝協働するパートナー

- ・「日本」に対する愛情や好感がある。
- ・「日本」に対する深い知識や問題意識がある。
- ・前述のネットワークの中心を担う人材。

関心を持っている層 ＝日本ファンになってもらう

- ・特定の分野に対する強い関心や深い知識があり、発信する意欲もある。

- ・特定の分野に対する強い関心や知識がある。
- ・興味分野について積極的に情報収集する。
- ・特定の地域に関心を持っている。

- ・関心はあるが、分野や地域を特定するに至っていない。

訪日観光客

留学経験者

イベント参加者

海外の日本研究者等

就労経験者

登録

- ・登録を促す仕組みが必要
- ・登録システムの管理者が必要

<登録情報>

基礎的な情報の登録をファーストステップとし、詳しい情報を登録することでステップアップ。その段階に応じて、メリット措置が受けられる。

(イメージ)

4th Step

過去の渡航・滞在履歴等

3rd Step

パスポート番号等

2nd Step

関心のある分野、地域等の事項等

First Step

メールアドレス、出身国等最小限度の情報

<メリット措置>

訪日回数、フォロー数、発信数(定量的)、CJを含む日本への貢献度(定性的)等に応じて、例えば、以下の通り段階的に提供。

(イメージ)

4th Step

更なるメリット措置

3rd Step

空港におけるサービスの提供

2nd Step

特定の地域や分野に関する情報や特別サービスの紹介

First Step

地方に関する情報や既存のサービスの紹介